

氏名	高橋 恵子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	基礎看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	東京医科歯科大学医学部保健衛生学科看護学専攻卒業、 2001年聖路加看護大学大学院看護学研究科博士前期課程修了、2012年聖路加看護大学大学院博士後期課程修了				
経歴	1993 - 97年：聖路加国際病院（看護師9、97 - 98年都立医療技術短期大学→都立保健科学大学助手、2001 - 05年：聖路加看護大学講師 2006 - 07年：聖路加看護大学21世紀COEプログラム研究員、2011-14年：聖路加看護大学看護実践開発研究センター 2014 - 4021年：聖路加国際大学大学院看護学研究科（兼務：国際・地域連携センターPCC開発地域連携室）2022年～埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科教授				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、聖路加看護学会、日本がん看護学会、日本精神保健看護学会、日本遠隔医療学会、日本ヘルスリテラシー学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	テレナーシング その理論と実践	単著	あり	照林社、58-65	高橋恵子著、亀井智子編	2024.2
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	Assessment Scale educational Materials For People-Centered Care in the community Partnerships Between Community People and Healthcare Professionals	共著	なし		「New GNWHOCCNM LINKS Magazine」 34-35	Keiko Takahashi, Erika Ota
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	市民のヘルスリテラシー向上を目指したオンラインによる参加型講座の評価ー講座前と直後のアンケート結果からー	共同		第28回聖路加看護学会学術大会	○高橋恵子、佐藤晋巨、松本直子、中村めぐみ、射場典子、江部紀美子	2023.9
2	市民と保健医療専門職が共に考える試作版「ビープル・センタード・ケア」教材のユーザビリティ評価	共同		第43回日本看護科学学会学術集会	○高橋恵子、朝澤恭子、有森直子、亀井智子、麻原きよみ、新福洋子、大森純子、射場典子、中村めぐみ、菱沼典子、田代順子	2023.12
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	<Webサイト> 共に考えよう市民中心のケア People-Centered Care	共著		Webサイト <a href="https://p-cc.jp/">https://p-cc.jp/</a> <a href="https://p-cc.jp/en/">https://p-cc.jp/en/</a>	○高橋恵子、朝澤恭子、有森直子、亀井智子、麻原きよみ、新福洋子、大森純子、射場典子、中村めぐみ、菱沼典子、田代順子	2024.3.25
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・科学研究費補助金（基盤研究B）			市民と保健医療者が共に考える「市民主導型ケア」教材のグローバルスタンダード開発	研究代表者	2019.4～2024.3

2	埼玉県立大学：奨励研究 A研究	市民の「健康情報を入手し、理解する力」の向上をめざすオンラインを用いたヘルスリテラシープログラムの評価	研究代表者	2023.4～2025.3
3	一般社団法人聖路加看護学会看護実践科	大学が地域に開いた市民主導の健康生成をめざす健康情報サービス事業の発展過程と課題	(射場典子代表) 研究分担者	2023.4～2024.3

### 3. 教育業績

#### (1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	大学院 看護理論		6	大学院博士前期課程対象：看護の理論の中範囲理論を担当し、People-Centered Careの理論と実践の説明、また受講生の看護理論のプレゼンテーションへのコメント指導を行った。
2	看護学原論		16	1年生対象：看護の基本的概念である看護・人間・健康・環境について学習することを目的とした講義である。主に2コマの授業を担当し、その他の授業ではグループディカッションへの指導に参与した。
3	看護方法Ⅰ		16	1年生対象：看護の基本技術の習得を目的とした講義・演習であり、主に演習時（バイタルサインの測定など）の指導に参与した（学生の思考を大切に、助言は学生の言動を確認してから対応した）
4	看護方法Ⅱ		16	2年生対象：日常生活援助の知識と技術の習得を目的とした講義・演習であり、主に演習時（ボディメカニクス・車いす移動など）の指導に参与した
5	看護方法Ⅲ		16	2年生対象：日常生活援助の知識と技術の習得を目的とした講義・演習であり、主に演習時（採血・注射など）の指導に参与した
6	看護方法Ⅳ		16	2年生対象：診断、治療過程にある人の理解と基本的技術の習得を目的とした講義・演習であり、主に演習時の指導に参与した。
7	看護方法Ⅴ		16	2年生対象：対象の状態に応じた看護を実践する力を目的とした講義・演習であり、主に演習時の指導に参与した。
8	看護過程論		16	1年生対象：看護過程の理解とその展開技術の習得を目的とした講義・演習であり、演習時のサポート・指導を行った。
9	大学院 看護理論		5	大学院博士前期課程対象：看護の理論の中範囲理論を担当し、People-Centered Careの理論と実践の説明、また受講生の看護理論のプレゼンテーションへのコメント指導を行った。
10	大学院 看護教育論		6	大学院博士前期課程対象：看護に必要な学習理論、看護教育における教授－学習方法に適用するための基盤となる知識を獲得することを目的とした授業である。履修学生は、実際に教育計画案を作成し、模擬講義を行い評価する。その過程における指導を行った。
11	大学院 看護管理システム論		4	大学院博士前期課程対象：看護サービス提供システムの基本となる理論及びヒューマン・サービス組織の独自性を把握した管理運営の手法を学び、効果的な看護管理システムを構築する能力を養う目的の授業である。1コマチームビルディングの授業を担当し、まとめでは看護管理で学んだ理論、知識を活用し、事故の職場の課題とその対応策について院生が発表し討議するプロセスでの指導を行った。
12	川崎市立看護大学：サービスラーニング論Ⅰ		2	看護学科1年生：サービスラーニングの概念及び、サービスラーニングに必要な技術を身につけ、多様な考え方を学科目である。2コマを担当し、サービスラーニングの特徴と意義について、グループワークを用いながら進めた。
13	聖路加国際大学：PCCN論		1	看護学部1年生：PCCの導入に経緯とPCCの理論と実践について講義した。

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	IPW演習		16	3年生の演習指導：IPWの演習をリモートにて行う。学生間のワークが円滑に進むよう、適宜助言をしながら進めていった。また、学生の毎回のリフレクションシートにコメントをフィードバックした。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	基礎看護学実習I	○	2024.2 2単位	科目責任者として1年生を対象の初めての实習を、病院実習2日間と学内実習3日間に組み合わせて実施する。
2	基礎看護学実習II		2023.10 2単位	2年生の臨地実習指導：越谷市立病院の病棟において患者を受け持ち看護過程を展開をする学生の実習指導 (2クール担当：1G5名×2回)
3	ヒューマンケア体験実習	○	2023.9 1単位	1年生の統合学習指導：6グループで構成する3チーム (30名) の担当学生の学びの統合を行った。※1チームは、2G学生10名に1教員が配置されたチーム
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.4～2024.3	主指導 1名	副指導 0名
2	修士論文	2023.4～2024.3	主指導 (指導教員) 1名	副指導 (指導補助教員) 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	川崎市立看護大学：非常勤講師	2023.4～2024.3	川崎市立看護大学のサービスラーニング論を非常勤講師として2コマ担当した。	
2	聖路加国際大学大学院看護学研究科：客員研究員	2023.4～2024.3	客員研究員としてPeople-Centered Careの研究活動を実施：「市民のヘルスリテラシー事業」「PCC教材開発」に取り組んだ	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	虎の門病院 看護師研修 指導	虎の門病院	虎の門病院の看護師向けの研究活動研修の一部を担当 テーマ「文献レビュー」 (講師として)	2023.6.23
2	オープンカレッジ：からだのおはなし会 (8月22日)	埼玉県立大学オープンカレッジ	5歳児の親子を対象に、子どもへからだのしくみを伝える活動を行った。紙芝居、歌、からだTシャツなどを用いて行った。子ども5名、保護者5名参加	2023.8.22
3	聖路加国際大学：認定看護師教育課程 (共通科目)：医療情報論	聖路加国際大学生涯教育部	認定看護師教育課程： 医療情報論 医療情報の収集と活用 「ヘルスリテラシー」	2023.9.1
4	市民講座：健康情報の探し方、選び方、使い方を学ぼう！ヘルスリテラシー講座 (9月2日)	埼玉県立大学オープンカレッジ	市民講座を開催：オンラインにて講師として、自分の健康を自分で創り守るために必要となる、基本的な健康情報の探し方・選び方のコツを紹介。(オンライン開催)	2023.9.2
5	聖路加国際大学：認定看護師教育課程 (訪問看護師)：地域包括ケアシステム	聖路加国際大学生涯教育部	認定看護師教育課程： ：地域包括ケアシステム「メンタルケア：アサーション」チーム医療を促進するためのコミュニケーションを学ぶ科目である。授業内容は、アサーションに焦点を当てて、ワークを取り入れ、授業を進めた。	2023.9.8
6	NPO法人からだフシギ：からだ先生研修会 (9月30日)	NPO法人「からだフシギ」	NPO法人からだフシギの「からだ先生」研修会に、委員として参与した。開催場所：聖路加国際大学)	2023.9.30
7	専門職連携を学ぶ講座 多職種チームによる実践事例研修	埼玉県立大学	利用者中心の統合されたケアを想像するための利用者・集団・地域の問題解決プロセス、チーム形成プロセス、地域連携プロセス、に意図的に目を向け、多職種連携の課題やあり方を考える (オンライン開催)	2023.10.28 11.11、 11.25

8	放射線診療患者のメンタルケアの講義	公立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 人材育成センター	放射線看護過程を受講する看護師を対象に、放射線診療患者のメンタルケアについて講義。	2023.11.10
9	第43回日本看護科学学会学術集会 市民公開講座（運営）	日本看護科学学会 社会貢献委員会	第43回日本看護科学学会学術集会の市民を対象に公開講座を行った。市民公開講座 テーマ：文化財への接近 企画担当として：社会貢献委員（IN:山口）	2023.12.10
10	市民講座：健康情報の探し方、選び方、 使い方を学ぼう！ヘルスリテラシー講座 （3月16日）	聖路加国際大学 PCC開発地域連携室	市民講座を開催：オンラインにて講師として自分の健康を自分で創り守るために必要となる、基本的な健康情報の探し方・選び方のコツを紹介。	2024.3.16
11	日本看護科学学会学会 JANS:看護学研究者ナビ（運営）	日本看護科学学会 社会貢献委員会	ライブ：高校生の質問に答えます！「看護学の研究者って何するの？」をテーマに、高校生に看護学研究者について、インスタライブを開催し高校生の質問に答えた。 （委員として参与）	2024.3.27

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	日本看護科学学会	社会貢献委員会（委員）	2021年6月～ 2025年6月30日迄
2	聖路加看護学会	評議員	2022年6月～ 2025年6月30日迄
3	聖路加看護学会	選挙管理委員会（委員長）	2021年4月～ 2024年3月31日迄
4	越谷区役所 市民活動支援課	越谷しらこぼと基金運営委員会（委員長）	2023年4月～ 2024年6月30日迄
5	中央区社会福祉協議会	中央区ささえあいづくり協議会（会長）	2019年～ 2023年7月31日迄

(3) ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		

(4) その他

	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	NPO法人からだフシギ	子どもたちが、自分のからだをもっと大切にしようと思うことができるための活動（からだ先生の研修会、定例会議への参与）	2023.4～2024.3

5. 学内運営

	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員会	2022.4～2024.3
2	学生支援	1年担任長の役割 新入生ガイダンス、学生相談、個人面談、キャリアデザインの講義支援なども行った。	2023.4～2024.3

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）

	受賞名	主催	受賞年月
1	道学教師理事長賞	公立大学法人埼玉県立大学	2024.2

7. 特許の取得

	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		

8. 特記事項

1	健康マスター普及認定講師（日本健康生活推進協会）更新：2026年10月末迄有効 市民のヘルスリテラシー向上を目指す取り組みを推進している事業団体が提示しているもの
---	---